



## 女子サッカー部報告

CREATE PROGRESSIVE

2015-2016 シーズンチームスローガン:革新を起こす

## 第24回全日本高校女子サッカー選手権関西大会出場を決める

## 大阪大会は大商に敗れ準優勝

## 決勝リーグ大商学園が全勝優勝

来年1月兵庫県で開催される全国大会出場をかけた平成27年度大阪高校総合大会は、8月23日から9月22日までJ-GREEN堺他で行われた。大阪桐蔭は2回戦でリベルテ、3回戦で星翔に勝ち決勝リーグに進んだ。決勝リーグでは大阪桐蔭・大商学園・追手門学院・大阪学芸の4校が総当たり戦を行い、上位2チームが10月24日から大阪で行われる第24回全日本高等学校女子サッカー選手権関西大会に出場出来る。初戦の追手門には先制点を入れられたものの後半田中ちひろの素晴らしいゴールで同点に追いつきPKの追加点で逆転勝ちした。大阪学芸とは前半2ゴール、後半1ゴールの3点リードから終了間際に失点したが勝利した。決勝戦は今年1度も勝っていない因縁の相手、大商学園。前半は持ちこたえたものの後半は猛攻にあい、2失点を許してしまった。この結果大阪1位が大商学園、2位は大阪桐蔭となりこの2校が関西大会に出場する。

◇2回戦(8月30日、勝山高校グラウンド)35分ハーフ【カッコ内は前半のスコア】

大阪桐蔭 6-0(2-0)リベルテ香ヶ丘  
【得点】4分森田、23分田中ちひろ、43分永野、44分田中ちひろ、51分南里、54分足立

初戦の相手はリベルテ。前半から勢いある攻撃で4分永野のコーナーキックを頭で合した森田が先制点を決めた。23分には田中ちひろが力強いシュートを決め、前半を2-0で折り返した。43分には永野が混戦を押し込みシュート、さらに1分後またも田中ちひろがゴールし突き放した。51分には大坪のパスに反応した南里がゴール、最後には大嶋のシュートのこぼれ球を足立がシュートし得点。初戦を6-0という形で終えた。

◇3回戦(9月6日、成美高校グラウンド)

大阪桐蔭 4-0(1-0)星翔  
【得点】31分足立、36分オウンゴール、41分田中ちひろ、47分乾

この試合に勝てば決勝リーグへ進む。前半ゴールへと攻めるがなかなか得点につながらない。しかし、31分にコーナーキックに合わせた足立がヘディングシュートで前半を折り返し、後半36分には大坪のシュートが相手に当たりオウンゴール。41分、田中ちひろがロングシュートで得点し、47分には田中ちひろからのパスを受けた乾がゴールを決めた。この結果決勝リーグに駒を進めた。

◇決勝リーグ第1戦(9月12日、J-GREEN堺)40分ハーフ

大阪桐蔭 2-1(0-1)追手門学院  
【得点】60分田中ちひろ、64分田中ちひろ【失点】40分

決勝リーグ第1戦の相手は追手門学

院。この試合に負けてしまうと関西大会への切符が遠くなる大一番。大阪桐蔭の流れはあったが追手門の固い守りになかなかゴールが奪えない。そんな中前半終了間近、フリーキックを与えてしまい失点した。1点ビハインドで折り返した後半、メンバーチェンジで攻撃に力を入れると60分田中ちひろが相手のクリアボールをダイレクトシュートで同点。64分には、田中未夢がペナルティーエリアで倒されPKを獲得し、田中ちひろが落ち着いて決め逆転に成功した。追手門も最後まで追いかけるも大阪桐蔭の守りに勝てず、試合終了。関西大会出場へと一歩近づけた。

◇決勝リーグ第2戦(9月19日、J-GREEN堺)

大阪桐蔭 3-1(2-0)大阪学芸  
【得点】13分足立、28分永野、51分田中ちひろ【失点】80分

第2戦は大阪学芸。ここで勝てば関西大会出場に大きく近づける大事な一戦となった。前半13分コーナーキックから足立がフリーでヘディングしゴール。28分には田中ちひろのパスから永野が素晴らしいシュート決め前半を2-0で折り返した。後半も流れは大阪桐蔭。51分には大熊のヘディングパスから田中ちひろがシュートし得点。このまま終了かと思われたが、終了間際に1点を返された。

◇決勝リーグ第3戦(9月22日、J-GREEN堺)

大阪桐蔭 0-2(0-0)大商学園  
【失点】49分大商学園西山、68分大商学園藤根

最終戦は新チームになって今年4度目となる大商学園とのダービー戦。前半お互いチャンスがあったもののゴールを奪えず前半は0-0で折り返した。後半、大商の猛攻に苦しみ49分大阪桐蔭のスローインのミスから一気に攻め込まれ大商に先制点を許してしまった。そこから大阪桐蔭もチャンスを作るが決めきれず68分にはロングシュートを決められ、そのまま試合終了。課題がまた見られた試合となった。

## 皇后杯

第37回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会関西大会が9月13日～10月11日奈良フットボールセンター他で行われた。

◇1回戦(9月13日、奈良フットボールセンター)40分ハーフ

大阪桐蔭 2-1(0-0)武庫川女子大学  
【得点】43分山下、80分田中ちひろ【失点】68分

1回戦は、3年連続武庫川女子大学との対戦となった。前半は守備をかため0-0で折り返した。後半は大阪桐蔭のペースをつくり、ついに43分山下のドリブルからのシュートで得点。しかし68分コーナーキックから失点。なんとか勝ち切りたい大阪桐蔭は最後の最後で大嶋のシュートの跳ね返りを田中ちひろが押し込み2-1で勝利を収めた。

◇2回戦(9月20日、神戸LFC)

大阪桐蔭 2-1(2-0)海南シャウト  
【得点】33分田中ちひろ、37分山下【失点】62分

2回戦は国体選手が多くいる海南シャウトとの試合。前半33分田中ちひろが相手のミスを読みシュートし得点。さらに37分大熊のクロスから混戦となり最後は山下が押し込みゴール。しかし後半62分にフリーキックを大阪桐蔭卒業生齊藤に直接決められ2-1と追い上げられたが格上相手に勝つことができた。

◇準々決勝(9月23日、神戸LFC)

大阪桐蔭 0-1(0-1)京都バニーズ  
【失点】57分

チャレンジリーグの相手に大阪桐蔭は若さを武器に走り回りバニーズのペースにはさせなかった。しかし、後半17分にコーナーキックからヘディングシュートされ失点。その後は大阪桐蔭もチャンスをつくるが決めきれず、試合終了。今大会はベスト8で幕を閉じた。